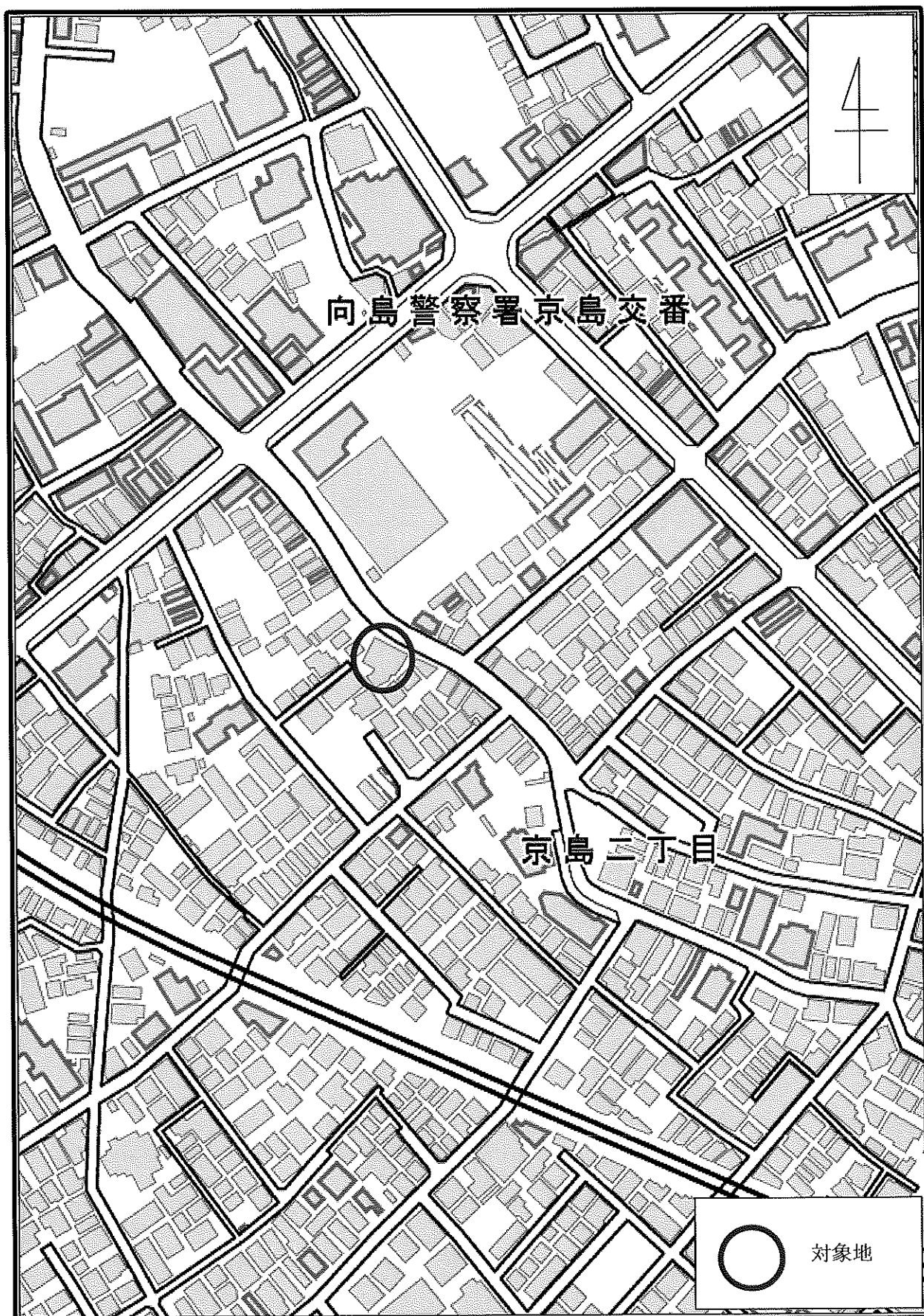




対象地位置図

出典：国土地理院

3. 調査内容

3-1 表土調査

1) 調査区画

調査対象地の最北端の地点を起点として東西方向及び南北方向に10m間隔で引いた線により格子状に単位区画を設定した。(回転角度 26 度 23 分 13 秒)

尚、敷地縁辺の面積の少ない単位区画については、「東京都土壤汚染対策指針」(平成31年3月東京都告示第394号、以下、「指針」という)に基づき、区画統合の条件(合計面積130㎡以下、長軸の長さ20m以下)に準拠し、隣接する区画と統合した。

本調査は、敷地全体を第一調査区分地として鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物の計2物質を対象とした表土調査を実施した。

表-2 調査区画の面積一覧表

区画名称	区画面積	統合の有無
A-1-1	105.45 ㎡	有
A-1-2	20.58 ㎡	有
A-1-4	35.91 ㎡	有

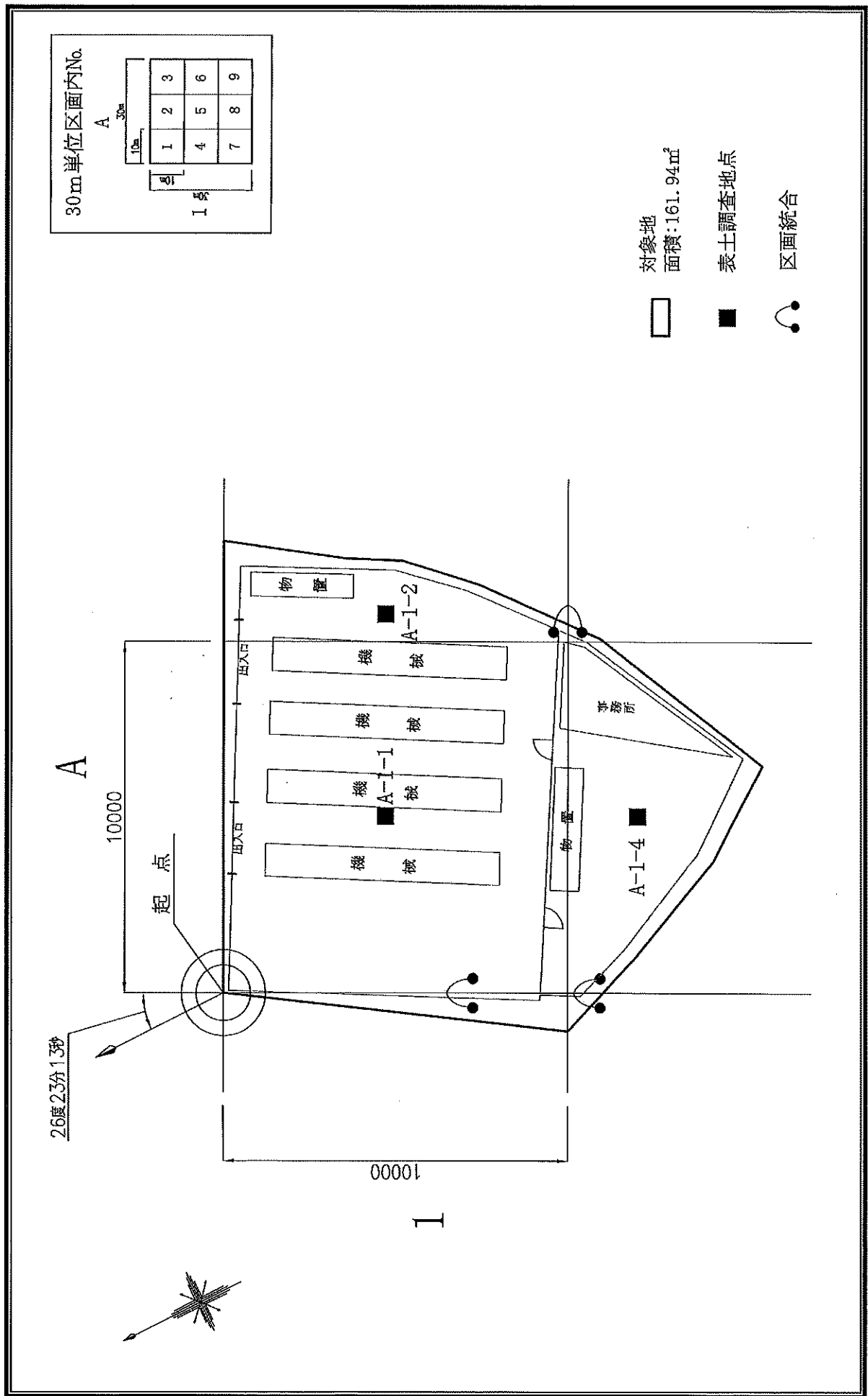
※区画面積はCAD計測により算出。

2) 試料採取地点

試料採取地点は下記の表-3及び6ページの図-3 表土調査試料採取地点図のとおり。指針に基づき、調査対象物質ごとの土壤汚染のおそれの判断により設定した。

表-3 表土調査試料採取地点一覧表

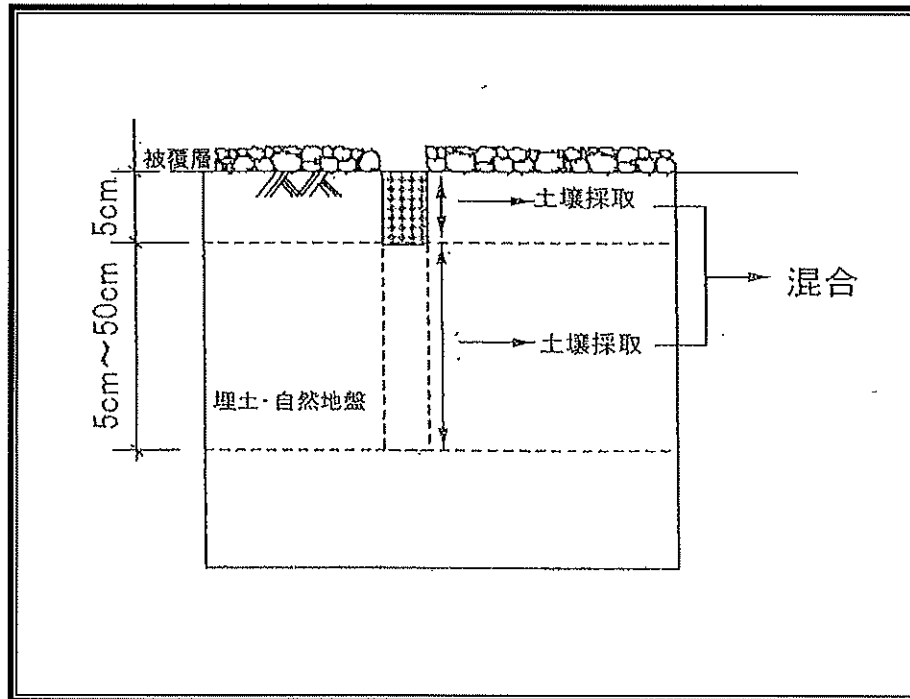
単位区画	試料採取地点	有害物質を含む廃水の 地下配管・地下槽等	試料採取地点の選定
A-1-1	A-1-1	なし	対象物質の使用範囲内の概ね中心
A-1-2	A-1-2	なし	対象物質の使用範囲内の概ね中心
A-1-4	A-1-4	なし	対象物質の使用範囲内の概ね中心



図—3 表土調査試料採取地点図

3) 試料採取深度

試料採取地点ごとに表層土壌(地表から深さ5cmまでの土壌)と深さ5cm～50cmまでの土壌をそれぞれ分けて採取し、均等に混合した。



図－4 試料採取概念図

4) 試料採取手法

手掘り式ボーリング（ダブルスコップ・ハンドオーガ）により掘削・サンプリングを行い、JIS K 0094 に準拠した容器を使用し、なるべく空間ができないように土壌試料を採取した。

採取した土壌試料は、冷暗状態で容器の内側が結露しないように保管し、計量証明機関へ搬送した。

5) 対象物質

土地利用の履歴等調査の結果、使用履歴が確認された鉛及びその化合物、ふっ素及びその化合物の計2物質とした。

6) 分析方法

溶出量分析 土壤汚染対策法施行規則第6条第3項第4号に基づく環境省告示第18号(平成15年3月)による測定方法

含有量分析 土壤汚染対策法施行規則第6条4項第2号に基づく環境省告示第19号(平成15年3月)による測定方法

7) 試料採取日 2023 年 02 月 13 日

8) 分析期間 2023 年 02 月 13 日～2023 年 02 月 17 日

9) 調査結果

表土調査の結果、調査対象物質である鉛及びその化合物の含有量値が汚染土壌処理基準（以下、「基準値」という）不適合にて確認された。

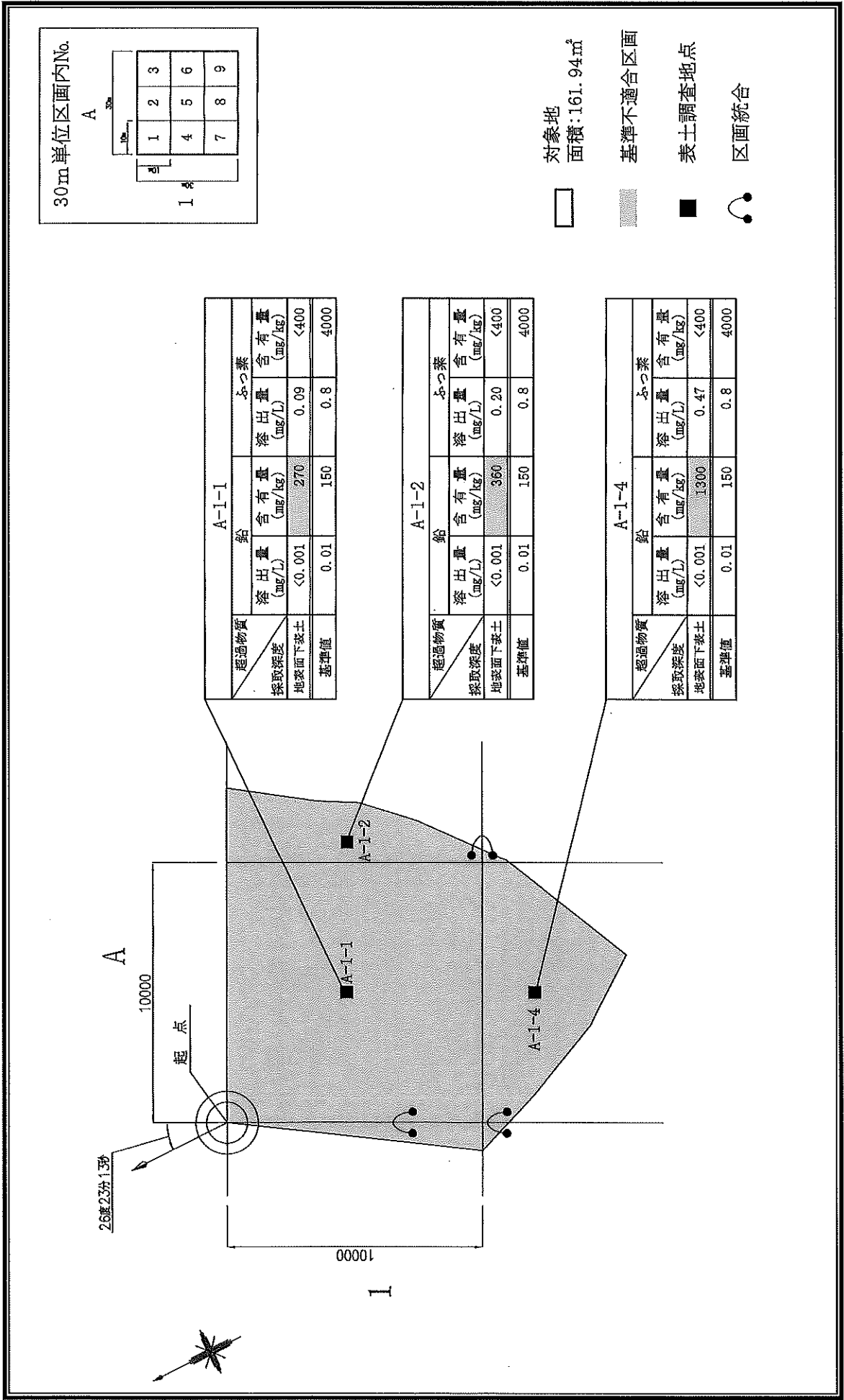
本調査の結果を下記の表－4 及び図－5 にまとめる。

※巻末資料－1 計量証明書参照

表－4 表 土 調 査 結 果 表

分析項目 調査地点	鉛及びその化合物		ふっ素及びその化合物	
	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)	溶出量 (mg/L)	含有量 (mg/kg)
A-1-1 地表面下表土	<0.001	270	0.09	<400
A-1-2 地表面下表土	<0.001	360	0.20	<400
A-1-4 地表面下表土	0.001	1300	0.47	<400
基準値	0.01	150	0.8	4000
第二溶出量 基準値	0.3		24	
試料採取日	2023 年 02 月 13 日			

※上記表中の  は土壌含有量基準不適合を示す。



図—5 表土調査結果図

4. 汚染拡散防止の方法

本措置対策は本届出者の共同住宅建設工事とあわせて実施することとする。

4-1 措置の種類

対象地における措置の種類を下記にまとめる。

1) 土壌入換え措置(区域外土壌入換え)

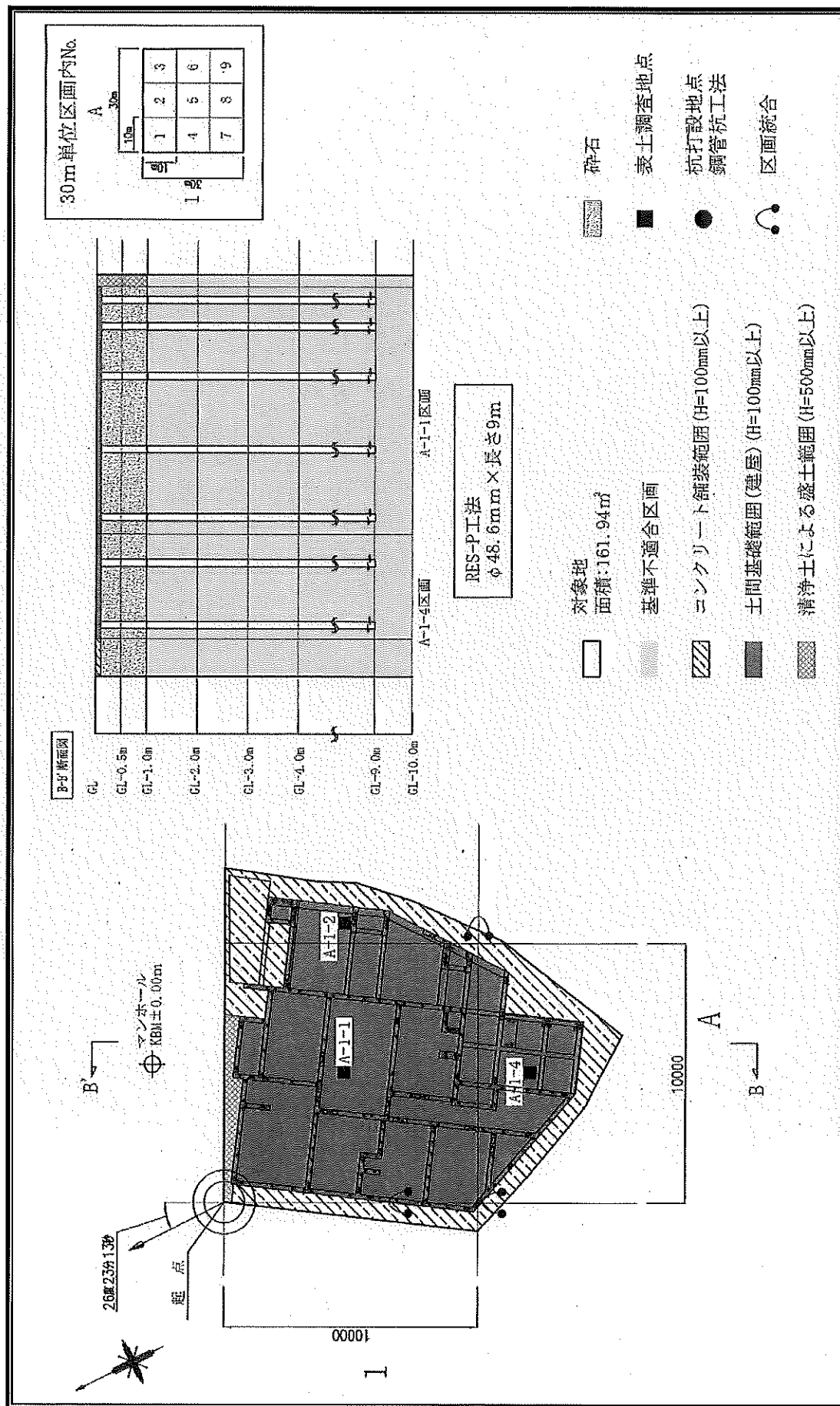
鉛及びその化合物の含有量基準不適合土壌が存在している対策区画の一部の汚染土壌については処分先として計画している汚染土壌処理施設(分別等処理施設)の受入れ条件にあわせ、地表から深度 1.0m までの汚染土壌を掘削除去し搬出・処分する。

2) 盛土・舗装(コンクリート)措置

鉛及びその化合物の含有量基準不適合土壌が存在しているすべての対策区画において、基準不適合土壌との接触防止及び区別をするため碎石を敷き均し、盛土範囲については層厚 50 cm 以上、コンクリート舗装範囲については層厚 10 cm 以上の被覆を施し、汚染拡散防止対策を行う。

4-2 共同住宅建設工事概要

- 1) 工 事 概 要 : 鈴木一成・関根千賀子・平川良子様施主宅付共同住宅新築工事(地上 3 階)
- 2) 形質変更面積 : 161.94 m² (内、掘削面積 161.94 m²、盛土・舗装面積 161.94 m²)
- 3) 形質変更深度 : 9.0 m (最大深度、RES-P 工法(補強材)による基礎工)
- 4) 汚染土壌の汚染区域外搬出 : あり (161.94m³)
- 5) 汚染土壌の掘削作業 : あり (深さ 1.0m)
- 6) 外部土壌等による盛土 : あり (5m³)
- 7) 工事予定期間 : 2023 年 4 月 10 日～2023 年 12 月 30 日
- 8) 施 工 会 社 : 大東建託株式会社



図一2-2 措置対策範囲平面・断面図 (盛土・舗装措置)